

Azumino
安曇野

市民タイムス安曇野支社
〒399-8304安曇野市穂高柏原2684

TEL0263-82-0001
FAX0263-82-0010



市民タイムスグループ

二光印刷

みなさまの素敵なコミュニケーションのお手伝い…。

株式会社 二光印刷
松本市大字利田6532-6
TEL.0263-48-1515 FAX.0263-48-1577

安曇野市で地域の魅力を掘り起こしてきたまち歩きガイドなどが実行委員会を設立し、4月下旬に始めた中信地域のまち歩きツアー「ココブラ」が定評を得ている。7月末までの計14回で延べ120人が参加、リピーターも増えている。コースの設定より案内人の得意分野を重視し、案内人が自らガイドを企画して良さを伝えようとする熱意が共感を呼んでいるようだ。(長尾浩道)

案内人が得意分野で企画



三角島を歩くココブラのツアー参加者。リピーターが増えている

先週末に行われたココブラで、穂高を流れる万水川、欠の川合流部の三角州(通称・三角島の周辺)帯を歩き、三角島の環境保全に携わる宮崎崇徳さん(53)

が11人を案内した。コブラはこれと違い、案内人が情熱を注ぐ仕事や趣味に基づいてコースを設定し、教科書にない豆知識も聴けるのが特徴だ。地域の魅力を再発見するまち歩きを定期的に行う安曇野市のNPO法人・安曇野ふるさとづくり応援団の会員有志などが、京都市の先進事例を参考に始めた。実行委メンバーでもある宮崎さんは「表面的な情報はスマホでも集められる。人生経験を含んだ話の方が相手に伝わり、満足度が高い」と手応えを話す。ココブラの詳しい情報はホームページ「ココブラ信州」で。

まち歩きのココブラ好評

図や航空写真のフリックで分かりやすく紹介すると、参加者は盛んにうなずいていた。参加が3回目という穂高の女性(47)は「地元についても知らないことがいっぱいある。そうだったんだと思わされる」と話した。

ツアーのテーマは山城、こま犬、天蚕、水、旧開智学校などさまざま。農家や老舗店経営者、元博物館長などが案内人となり、興味深い話を展開する。参加者の多くは中居住在住者で60〜70代が多い。7月は計4回に参加した32人中22人がリピーターだった。

一般的なまち歩きはまずコースを設定し、対象地域の歴史文化を